

宇管工 宇工高に機材寄贈 若年者育成に貢献へ

宇都宮市管工事業協同組合(宇管工、中村勝理理事長)は、宇都宮工業高校で実習機材の寄贈を行い、中村理事長から薄羽正明校長へ機材を贈呈した。宇管工の機材寄贈は、今回で12回目になるという。

中村理事長は「当組合は、社会貢献として将来の人材育成へ機材の寄贈を行っており、寄贈した機材は実習に役立ててほしい。生徒たちは、将来の進路に建設業を選択していただければ幸い」と述べ、今後も学校側に需要にあるものを選択して

寄贈を続け、積極的に若年者を応援していきたいとしている。

宇都宮工業高校では、

寄贈された機材を実習などに活用するとおり、県高校生ものづくりコンテストでの受賞に寄贈された機材が役立ったと、宇管工に対して感謝の意を表した。



中村勝理事長(左)が機材を寄贈